

地震対策

地震発生時の行動マニュアル

地震発生

(((!!))) まずは身の安全を確保する

緊急地震速報

強い揺れ(最大震度5弱以上)が予想される数秒から数十秒前に、テレビやラジオ、防災行政無線やスマートフォンなどで「強い揺れが予想されていること、予想されている地域」を伝えます。ただし、震源に近い地域では、強い揺れに間に合わないことがあります。



屋内にいる場合	一般住宅	<ul style="list-style-type: none"> ○身を守るため、丈夫な机の下などに隠れる ○あわてて外に飛び出さない ○火の始末はすばやく行う(火元から離れているときは無理に火を消しに行かない) ○扉を開けて避難路を確保する
	大規模店舗など	<ul style="list-style-type: none"> ○あわてずに施設の係員や従業員などの指示に従う ○つり下がっている照明などの下から退避する
	エレベーターに乗っているとき	<ul style="list-style-type: none"> ○最寄りの階で停止させて、すぐに降りる
屋外にいる場合	路上	<ul style="list-style-type: none"> ○ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる ○ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる
	自動車運転中	<ul style="list-style-type: none"> ○あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす ○ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する
	山や崖付近	<ul style="list-style-type: none"> ○落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる

揺れがおさまったらやること

- まずは周囲を確認し、身の安全を確保する
- あわてて行動すると、転倒した家具類、飛び散ったガラスの破片等でケガをするおそれがある
- 小さな揺れするとき、または揺れがおさまった後に、窓や戸を開け、出口を確保する



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声を掛けよう ○我が家の安全を確認後、近所にも声を掛けて安否を確認する

出火防止 ○電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉める



避難の判断

- デマや噂にまどわされず、テレビ、ラジオ、役場等からの情報に注意し、正しい状況を把握する
- 徒歩で避難する。車は渋滞を引き起こし、消防・救急活動に支障を来すので使用しない
- 消防や警察への緊急連絡を優先するため、電話の使用は控える
- 身の周辺に危険が迫っていると判断した場合は、ためらうことなく避難する

避難の行動、救出・救護活動

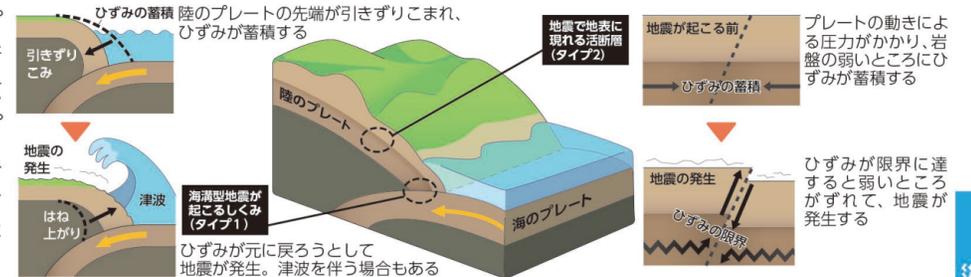
- 外に出るときも周囲の確認をする。ガラスや看板等が落ちてくる可能性がある
- 救出活動はできるだけ複数で協力して行う
- 火災報知設備の警報を聞いたときは、状況を確認して、すみやかな行動を心掛ける



地震対策

発生のしくみ

地球の表面は、海や陸など数十枚に分かれたプレート(岩盤)で覆われています。海の下では新しいプレートが生まれ、年間数cmの速さで広がって陸のプレートに押し寄せます。海のプレートは陸のプレートより重いため、その下に入りこみます。この圧力によってプレートにひずみがたまり、それが限界に達すると、亀裂が入ったり大きく動いたりします。これが地震なのです。



地震によって想定される被害

震度4	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの人が驚く ○電灯などのつり下げ物は大きく揺れる ○座りの悪い置物が、倒れることがある 	震度6弱	<ul style="list-style-type: none"> ○立っていることが困難になる ○壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある ○耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある
震度5弱	<ul style="list-style-type: none"> ○大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる ○棚にある食器類や本が落ちることがある ○固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある 	震度6強	<ul style="list-style-type: none"> ○はわないと動くことができない ○固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える ○耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える
震度5強	<ul style="list-style-type: none"> ○物につかまらなると歩くことが難しい ○棚にある食器類や本で落ちるものが増える ○補強されていないブロック塀が崩れることがある 	震度7	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある ○耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える

わが家の安全対策

安全対策していないと...



安全対策しましょう!

